

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 1 部門第 2 区分

【発行日】令和 3 年 4 月 15 日 (2021.4.15)

【公開番号】特開 2019-166084 (P2019-166084A)

【公開日】令和 1 年 10 月 3 日 (2019.10.3)

【年通号数】公開・登録公報 2019-040

【出願番号】特願 2018-56297 (P2018-56297)

【国際特許分類】

A 6 3 F 7/02 (2006.01)

【F I】

A 6 3 F 7/02 3 0 4 D

【手続補正書】

【提出日】令和 3 年 2 月 26 日 (2021.2.26)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

被収容物を収容し所定の枠部材に対して相対変位可能に構成される収容体を備えた遊技機において、

前記被収容物に配設され操作可能に構成される操作手段と、

その操作手段の操作に関する情報を遊技機前面側へ向けて報知可能とされ遊技機前面側に配設される報知手段と、

第 1 の電氣的接続線により前記被収容物に接続され前記報知手段を制御する制御手段と

、

第 2 の電氣的接続線により前記被収容物に接続される電源手段と、を備え、

前記被収容物には、前記第 1 の電氣的接続線と、前記第 2 の電氣的接続線と、1 又は複数の他の電氣的接続線とが接続され、

前記電氣的接続線の内の少なくとも前記第 1 の電氣的接続線および前記第 2 の電氣的接続線が前記被収容物に接続され、少なくとも 1 の前記他の電氣的接続線が非接続とされた状態において、前記操作手段の操作に関する情報が報知可能に構成され、

前記他の電氣的接続線は、前記収容体が遊技機背面側に配設された状態において前記被収容物から取り外し可能とされ、

前記収容体は、前記遊技機の前面視において前記所定の枠部材に前記操作手段が重ならない位置まで前記所定の枠部材に対して相対変位可能とされ、

前記報知手段は、前記第 1 の電氣的接続線、前記第 2 の電氣的接続線、及び、前記他の電氣的接続線が前記被収容物に接続される状態において、遊技に関する情報が報知可能に構成されることを特徴とする遊技機。

【請求項 2】

前記収容体は、少なくとも一部が光透過性材料から構成されることを特徴とする請求項 1 記載の遊技機。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0002

【補正方法】変更

【補正の内容】

【 0 0 0 2 】

被收容物を收容する收容体を備えた遊技機が知られている（特許文献1）。

【 手続補正 3 】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 0 3

【補正方法】変更

【補正の内容】

【 0 0 0 3 】

【特許文献1】特開2015-205029号公報

【 手続補正 4 】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 0 4

【補正方法】変更

【補正の内容】

【 0 0 0 4 】

しかしながら、上述した従来の遊技機では、被收容物に配設された操作手段の操作について改良の余地があった。本発明は、上記例示した問題点を解決するためになされたものであり、操作手段を好適に操作できる遊技機を提供することを目的とする。

【 手続補正 5 】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 0 5

【補正方法】変更

【補正の内容】

【 0 0 0 5 】

この目的を達成するために請求項1記載の遊技機は、被收容物を收容し所定の枠部材に対して相対変位可能に構成される收容体を備えたものであり、前記被收容物に配設され操作可能に構成される操作手段と、その操作手段の操作に関する情報を遊技機前面側へ向けて報知可能とされ遊技機前面側に配設される報知手段と、第1の電氣的接続線により前記被收容物に接続され前記報知手段を制御する制御手段と、第2の電氣的接続線により前記被收容物に接続される電源手段と、を備え、前記被收容物には、前記第1の電氣的接続線と、前記第2の電氣的接続線と、1又は複数の他の電氣的接続線とが接続され、前記電氣的接続線の内の少なくとも前記第1の電氣的接続線および前記第2の電氣的接続線が前記被收容物に接続され、少なくとも1の前記他の電氣的接続線が非接続とされた状態において、前記操作手段の操作に関する情報が報知可能に構成され、前記他の電氣的接続線は、前記收容体が遊技機背面側に配設された状態において前記被收容物から取り外し可能とされ、前記收容体は、前記遊技機の前面視において前記所定の枠部材に前記操作手段が重ならない位置まで前記所定の枠部材に対して相対変位可能とされ、前記報知手段は、前記第1の電氣的接続線、前記第2の電氣的接続線、及び、前記他の電氣的接続線が前記被收容物に接続される状態において、遊技に関する情報が報知可能に構成される。

【 手続補正 6 】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 0 6

【補正方法】削除

【補正の内容】

【 手続補正 7 】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 0 7

【補正方法】削除

【補正の内容】

【 手続補正 8 】

【補正対象書類名】明細書
 【補正対象項目名】0008
 【補正方法】変更
 【補正の内容】
 【0008】

請求項1記載の遊技機によれば、操作手段を好適に操作できる。

【手続補正9】
 【補正対象書類名】明細書
 【補正対象項目名】0009
 【補正方法】削除
 【補正の内容】
 【手続補正10】
 【補正対象書類名】明細書
 【補正対象項目名】0010
 【補正方法】削除
 【補正の内容】
 【手続補正11】
 【補正対象書類名】明細書
 【補正対象項目名】1712
 【補正方法】変更
 【補正の内容】
 【1712】

遊技機A1からA11、B1からB8、C1からC10、D1からD8、E1からE6、F1からF10、G0からG5、H1からH6、I0からI3、J0からJ5、K1からK10、L0、M1からM19、N1からN11、O1からO8、P1からP5、Q1からQ4及びR1からR4のいずれかにおいて、前記遊技機はパチンコ遊技機とスロットマシンとを融合させたものであることを特徴とする遊技機X3。中でも、融合させた遊技機の基本構成としては、「複数の識別情報からなる識別情報列を動的表示した後に識別情報を確定表示する可変表示手段を備え、始動用操作手段（例えば操作レバー）の操作に起因して識別情報の変動が開始され、停止用操作手段（例えばストップボタン）の操作に起因して、或いは、所定時間経過することにより、識別情報の動的表示が停止され、その停止時の確定識別情報が特定識別情報であることを必要条件として、遊技者に有利な特別遊技状態を発生させる特別遊技状態発生手段とを備え、遊技媒体として球を使用すると共に、前記識別情報の動的表示の開始に際しては所定数の球を必要とし、特別遊技状態の発生に際しては多くの球が払い出されるように構成されている遊技機」となる。

<その他>

同一の可動役物を複数の演出で異なる動作をするよう制御する遊技機がある（例えば、特許文献1：特開2016-73517号公報）。

しかしながら、上述した従来の遊技機では、遊技者の興趣の向上という観点から改善の余地があるという問題点があった。本技術的思想は、上記例示した問題点を解決するためになされたものであり、遊技者の興趣の向上を図ることができる遊技機を提供することを目的とする。

<手段>

この目的を達成するために技術的思想1の遊技機は、所定位置を含む経路で変位可能に構成される変位手段を備え、その変位手段は、前記所定位置から変位態様の変わる基準点となる基準位置へ変位可能に構成され、その基準位置から、複数種類の態様で前記所定位置へ変位可能に構成されている。

技術的思想2の遊技機は、技術的思想1記載の遊技機において、前記変位手段を変位させるための駆動力を発生させる駆動手段と、前記変位手段の変位を規制する規制手段とを備え、その規制手段は、前記駆動手段が駆動力を生じていない状態において、前記変位手

段の変位を規制可能に構成される。

技術的思想 3 の遊技機は、技術的思想 1 又は 2 に記載の遊技機において、前記規制手段は、前記駆動手段の駆動力により変位手段に作用可能な位置へ変位する。

<効果>

技術的思想 1 記載の遊技機によれば、遊技者の興趣の向上を図ることができる。

技術的思想 2 記載の遊技機によれば、技術的思想 1 記載の遊技機の奏する効果に加え、変位手段の位置を維持したまま駆動手段を停止することができる。

技術的思想 3 記載の遊技機によれば、技術的思想 1 又は 2 に記載の遊技機の奏する効果に加え、規制手段を変位させるための駆動力を駆動手段の駆動力で兼用することができる。

<符号>

1 0	パチンコ機（遊技機）
1 3	遊技盤（領域構成手段の一部）
1 8	ヒンジ（支持軸の一部）
1 9	ヒンジ（支持軸の一部）
6 5 a	特定入賞口（利益付与手段の一部）
8 1	第 3 図柄表示装置（注目手段の一部、表示手段）
8 6	センターフレーム（枠手段）
1 5 0	球流下ユニット（流下手段の一部）
1 5 2	第 1 受入流路（第 1 構成部、第 2 構成部）
1 5 3	第 2 受入流路部材（第 2 構成部）
1 5 4	突条部（減速手段の一部）
1 6 1	導光板（注目手段の一部）
1 6 6	横置き基板ユニット（所定基板）
1 7 0	装飾手段（被配置手段）
1 7 1 a	横長溝部（低透過手段）
1 7 1 b	反射形状部（方向変化手段）
1 8 0	変位規制装置（制限手段）
1 8 1	当接部材（案内手段の一部）
1 8 1 b	筒状保持部（案内手段の一部）
1 8 3	操作部材（操作部）
1 8 3 f	係合部
1 8 4	コイルスプリング（付勢手段）
2 2 1	M P U（防止報知手段）
3 1 0	区画部材（補助手段の一部、案内手段、箱状手段）
3 1 2	湾曲板部（第 1 案内部）
3 1 4	背面区画下部（第 2 案内部）
3 1 5	異形貫通部（開放部）
3 2 0	粒状部材（変位手段の一部、配置手段の一部）
3 6 2	軸部（規制部）
4 1 0	直動部材（変位手段の一部、第 2 部材）
4 1 3	台形突設部（第 2 当接部）
4 1 4	突条部（第 2 対象部）
4 2 0	衝突部材（作用手段の一部、当接手段、第 1 手段）
4 2 4	緩衝部材（第 2 当接部）
4 3 0	当接部材（変位手段の一部、第 1 部材、規制手段）
4 3 2	突設部（第 1 対象部）
4 4 0	前側伝達部材（伝達手段の一部）
4 4 2	溝形成部（第 2 伝達部、判別関与手段）
4 4 6	伝達突部（第 1 伝達部、当接部）

<u>4 7 0</u>	<u>伝達アーム部材（伝達手段）</u>
<u>4 8 0</u>	<u>蓋部材（作用手段の一部、当接手段、進退手段）</u>
<u>4 8 2</u>	<u>張出部（代表先端部）</u>
<u>4 8 9 a</u>	<u>第 1 当接面（当接面）</u>
<u>4 8 9 b</u>	<u>第 2 当接面（当接面）</u>
<u>4 8 9 c</u>	<u>第 3 当接面（当接面）</u>
<u>5 1 0</u>	<u>背面ケース（領域構成手段の一部）</u>
<u>6 3 0</u>	<u>下アーム部材（作用手段の一部）</u>
<u>6 3 3</u>	<u>支持孔（主支持手段）</u>
<u>6 3 4</u>	<u>円弧状孔（補助支持手段、案内手段）</u>
<u>7 0 0</u>	<u>演出部材（変位手段）</u>
<u>7 3 0</u>	<u>回転板（負荷発生手段、変位発生手段）</u>
<u>7 4 0</u>	<u>伸縮変位部材（第 1 部材の一部、第 2 部材の一部）</u>
<u>7 4 3 b</u>	<u>第 1 被案内突部（第 1 被負荷部）</u>
<u>7 4 4 b</u>	<u>第 2 被案内突部（第 2 被負荷部）</u>
<u>7 6 0</u>	<u>遮蔽意匠部材（第 1 部材の一部、第 2 部材の一部）</u>
<u>8 2 0</u>	<u>縦スライド部材（変位手段の一部）</u>
<u>8 4 0</u>	<u>横スライド部材（変位手段の一部）</u>
<u>8 7 0</u>	<u>長尺アーム部材（電気配線変位手段）</u>
<u>8 8 2 a</u>	<u>壁部（停留手段の一部）</u>
<u>8 8 6</u>	<u>案内凹部（対応変化手段）</u>
<u>8 8 7</u>	<u>円柱突設部（停留手段の一部）</u>
<u>D K 2</u>	<u>電気配線</u>
<u>D K 2 b</u>	<u>下側巻き部（第 2 所定部）</u>
<u>L M 1</u>	<u>中間流路（流下手段の一部、第 1 構成部）</u>
<u>M T 1</u>	<u>駆動モータ（駆動手段）</u>
<u>I E 1</u>	<u>内部空間（範囲）</u>
<u>S C 4</u>	<u>検出センサ（検出手段）</u>
<u>S P 1</u>	<u>コイルスプリング（負荷発生手段の一部、付勢手段）</u>
<u>A 1 0, A 3 0 1 0, A 4 0 1 0</u>	<u>パチンコ機（遊技機）</u>
<u>1 1</u>	<u>外枠</u>
<u>1 2</u>	<u>内枠（ベース体）</u>
<u>1 8</u>	<u>ヒンジ（回転軸）</u>
<u>A 1 0 0, A 2 1 0 0, A 3 1 0 0, A 4 1 0 0</u>	<u>基板ボックス（収容体）</u>
<u>A 1 1 0</u>	<u>主制御装置（対象物）</u>
<u>A 1 1 9</u>	<u>プリント基板（対象物、制御基板）</u>
<u>A 1 2 0</u>	<u>スイッチ装置（操作手段）</u>
<u>A 1 2 2</u>	<u>操作部（操作子）</u>
<u>A 1 2 3 b</u>	<u>突部（第 1 面）</u>
<u>A 1 3 0</u>	<u>キー装置（操作手段）</u>
<u>A 1 3 3 b</u>	<u>突部（受入部）</u>
<u>A 1 3 3 c</u>	<u>端部（第 1 面）</u>
<u>A 1 4 0</u>	<u>鍵（操作子）</u>
<u>A 2 0 0, A 3 2 0 0</u>	<u>ボックスカバー（収容体）</u>
<u>A 2 0 3</u>	<u>下壁部（立設壁）</u>
<u>A 2 1 0</u>	<u>操作用壁部（対向部）</u>
<u>A 2 1 1</u>	<u>第 1 突条（突条）</u>
<u>A 2 1 2</u>	<u>第 2 突条（突条）</u>
<u>A 2 2 0</u>	<u>第 1 接続壁部（接続面）</u>
<u>A 2 3 0</u>	<u>第 2 接続壁部（接続面、他の接続面）</u>

<u>A 2 4 0</u>	<u>第 3 接続壁部（接続面、他の接続面）</u>
<u>A 2 5 0</u>	<u>開口</u>
<u>A 2 6 0</u>	<u>開口</u>
<u>A 2 7 0, A 2 2 7 0</u>	<u>被覆部</u>
<u>A 2 7 1</u>	<u>周壁部（被覆部）</u>
<u>A 2 7 1 a</u>	<u>基部（被覆部）</u>
<u>A 2 7 1 b</u>	<u>突部（膨出部）</u>
<u>A 2 7 2, A 2 2 7 2</u>	<u>端面壁部（被覆部、対向部）</u>
<u>A 2 7 2 a</u>	<u>円環部（対向部）</u>
<u>A 2 7 2 b</u>	<u>角形部（対向部）</u>
<u>A 2 2 7 3</u>	<u>突条（突部）</u>
<u>A 2 8 0, A 2 9 0</u>	<u>立設壁</u>
<u>A 2 8 0 a, A 2 9 0 a</u>	<u>テーパ面</u>
<u>A 2 8 1, A 2 9 1</u>	<u>第 1 立設壁（立設壁）</u>
<u>A 2 8 2, A 2 9 2</u>	<u>第 2 立設壁（立設壁）</u>
<u>A 2 8 3, A 2 9 3</u>	<u>第 3 立設壁（立設壁）</u>
<u>A 2 8 4</u>	<u>第 4 立設壁（立設壁）</u>
<u>A 3 0 0</u>	<u>ボックススペース（収容体）</u>
<u>A 4 1 0, A 4 4 1 0</u>	<u>回転軸</u>
【 <u>手続補正 1 2</u> 】	
【 <u>補正対象書類名</u> 】明細書	
【 <u>補正対象項目名</u> 】1 7 1 3	
【 <u>補正方法</u> 】変更	
【 <u>補正の内容</u> 】	
【 <u>1 7 1 3</u> 】	
<u>1 0</u>	<u>パチンコ機（遊技機）</u>
<u>8 1</u>	<u>第 3 図柄表示装置（報知手段）</u>
<u>1 1 3</u>	<u>音声ランプ基板（制御手段）</u>
<u>1 1 5</u>	<u>電源装置（電源手段）</u>
<u>1 2</u>	<u>内枠（所定の枠部材）</u>
<u>2 2 6</u>	<u>音声出力装置（報知手段）</u>
<u>A 1 0 0, A 2 1 0 0, A 3 1 0 0</u>	<u>基板ボックス（収容体）</u>
<u>A 1 1 0</u>	<u>主制御装置（被収容物）</u>
<u>A 1 2 0</u>	<u>スイッチ装置（操作手段）</u>